

記入日 2021 年 11 月 7 日

## 一般社団法人日本薬学生連盟 2022 年度本部立候補申請書

立候補者氏名	有賀裕晃
立候補する役職	公衆衛生委員長
大学/学部/学科	愛知学院大学/薬学部/医療薬学科
学年	2 年
所属	公衆衛生委員会、交換留学委員会、東海支部、内務部
日本薬学生連盟での活動経歴	2020 年 公衆衛生委員会、交換留学委員会に所属 2021 年 東海支部、内務部に所属 日本薬学生ジャンボリー第2段 WS班リーダー
立候補動機	2021 年度公衆衛生委員長 小野優花氏からの推薦  私は今まで約 1 年間日本薬学生連盟に所属し、様々な活動を経験させていただきました。その中でもこの公衆衛生委員会は私が最初に所属することを選んだ部署であり、現在所属している 4 つの部署の中で、最も多くの経験をさせていただいた部署でもあります。公衆衛生委員会で委員長として活動することでさらに多くの経験を積み、人として成長したいと考え、立候補しました。
問題点と改善案	・所属したばかりのメンバーが意見を出しづらそうと感じる場面がある。 →スタッフ内での交流会を行い、話しやすい環境を作る。 ・他地域の公衆衛生委員会メンバーとの関わりが少ない。 →他地域のメンバーとの合同の交流会を開催する。
活動計画	前期:世界禁煙デー 後期:Vampire Campaign、世界糖尿病デー、新型コロナウイルス 各地域:PPAC、薬膳、がん 他団体、他部署、高校生などとのコラボイベント
所信	私にとって公衆衛生委員会は、成長できる場所です。 今まで数多くの企画作りやイベントに携わってきましたが、その中で得たものは非常に多く、有意義なものばかりでした。例えば、新型コロナワクチンの勉強会や、Vampire Campaign などです。今まで私の中には無かった知識や考え方、選択肢や物事の捉え方などを知ることができ、確実に視野が広がったと思います。また、普段の生活がより充実したものになりました。このような感覚を、より多くの方に知っていただけたらと思います。私は、最終的に一人でも多くの方に、この委員会での活動を通して視野が広がった、成長することができた、たくさん経験を積むことができた、と言っていただけるような委員会にしたいと考えています。皆さんが成長する場所を提供できる委員会にしていきたいです。